

# 沖縄と天皇制

明治の皇民化教育にはじまる沖縄の人びとの天皇との関わりとは、自らの文化を否定させられ、戦場へのレールを歩まされたことでした。

日米の戦闘に巻き込まれた住民の惨劇は、決して 1945 年 6 月 23 日に終わったわけではありません。沖縄が 27 年に及ぶ米軍の支配下に置かれたのは、昭和天皇が米軍に沖縄の長期駐留を進言したことも要因の一つと言われています。しかし、その事実を知らなかった沖縄の人びとは、米軍支配下で「日の丸・君が代」教育を推し進め、教職員を中心に「祖国復帰運動」を展開しました。また、琉球王国以来の家父長制をベースにした「門中制度」は、沖縄の中に「疑似天皇制」として存在し続け、女性たちを今も苦しめていると言っても過言ではありません。

沖縄にとって「天皇制」とは何なのか、女性の視点から照射してみようというのが今回のテーマです。ぜひふるってご参加ください。

**日 時： 2025 年 4 月 29 日 (火・休) 14:00～16:30**

**お 話： 宮城 晴美さん**

**会 場： wam オープンスペース (定員40名／予約・先着順)**

**参加費： 1000円 (wam 会員。非会員は 1200 円)**



\*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(2週間)になります。

お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで。wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。

## 【ゲスト紹介】 みやぎ・はるみ

1949 年生まれ。沖縄女性史家。地元誌の記者、編集者を経て那覇市職員となり、『那覇女性史』(前近代・近代・戦後編)を発行。那覇市歴史資料室(後の那覇市歴史博物館)で『那覇市史』の編集を担当。退職後は沖縄大、琉球大、沖縄国際大等で非常勤講師を 10 年務めた。

1995 年の米兵による少女性暴力事件をきっかけに作られた「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」では、戦後沖縄の女性に対する米兵の性犯罪に関する年表を作成、調査を継続。新沖縄県史編集委員会委員として、『沖縄県史 女性史』の執筆、発刊など県史編さん事業にも 30 年来、取り組んでいる。主著に『新版 母の遺したもの——沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』(高文研、2008 年)、共著多数。



主催：アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)  
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACO ビル 2F 〒169-0051  
t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

# wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

## ■これまでのセミナー

### 第1回 2020年11月3日

テーマ：叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの―「明治節」に考える―  
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

### 第2回 2021年2月11日

テーマ：桜の国の悲しみ、菊の国への抗い―「紀元節」に伝えておきたいこと  
お 話：石川逸子さん(詩人)

### 第3回 2021年2月23日

テーマ：「歌会始」が強化する天皇制―序列化される文芸・文化  
お 話：内野光子さん(歌人)

### 第4回 2021年4月29日

テーマ：「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任～近年の研究成果から学ぶ  
お 話：山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

### 第5回 2021年11月3日

テーマ：近代天皇と家族の表象  
お 話：北原恵さん(大阪大学元教員)

### 第6回 2022年2月11日

テーマ：近代天皇制がつくってきた差別―水平社宣言から100年を機に考える  
お 話：黒川みどりさん(静岡大学教員)

### 第7回 2022年4月29日

テーマ：天皇と戸籍  
お 話：遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

### 第8回 2022年11月3日

テーマ：撃ちてし止まむ！  
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

### 第9回 2023年2月11日

テーマ：天皇制と仏教  
お 話：源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

### 第10回 2023年4月29日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪(準備編)  
映画上映：『あんにょん・サヨナラ』(監督：金兌鎔、共同監督：加藤久美子/2005年/107分)  
アフタートーク：南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

### 第11回 2023年5月25日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪  
お 話：李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

### 第12回 2023年11月3日

テーマ：日本の近現代史からみる 天皇制と勲章  
お 話：栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

### 第13回 2024年2月11日

テーマ：「国民」が支える象徴天皇制―なぜ天皇制に終止符が打てないのか  
お 話：伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

### 第14回 2024年4月29日

テーマ：女のからだと天皇制―墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止  
お 話：大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

### 第15回 2024年11月3日

テーマ：「皇国史観」はどう作られたか―文部省の思想統制政策と歴史家の責任  
お 話：長谷川亮一さん(立教大学日本学研究所研究員)

### 第16回 2025年2月11日

テーマ：天皇のお金 明治から戦後まで  
お 話：加藤祐介さん(一橋大学大学院専任講師)

## 会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを速達お知らせします。  
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「女たちの戦争と平和人権基金」係

**wam**  
アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館  
women's active museum on war and peace

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051  
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org  
URL:https://wam-peace.org Twitter:@wam\_peace

開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため閉館

休館日：火・水・木・祝日(天皇誕生日の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。  
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

